【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公表番号】特表2008-520342(P2008-520342A)
【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)
【年通号数】公開・登録公報2008-024
【出願番号】特願2007-543049(P2007-543049)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｎ　1/36　(2006.01)
Ａ６１Ｎ　1/37　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｎ　1/36
Ａ６１Ｎ　1/37

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月10日(2008.10.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
埋込み式医療機器をプログラミングするためのシステムであって、
患者に治療を提供するための電子回路、通常の動作命令と動作設定を保持するための第１のデジタル保管領域、一時的な動作命令と動作設定を保持するための第２のデジタル保管領域、通信サブシステム、タイミング・サブシステムと備え、かつ患者の体に埋め込まれるように構成された医療機器と、
前記医療機器の通信サブシステム、およびプログラミング装置と通信するように構成された通信サブシステムを有する患者の体の外にあるリピータと、
から構成され、
前記患者、前記医療機器、前記リピータは、前記プログラミング装置から離れて配置され、
前記医療機器は、前記第１のデジタル保管領域内に保管された前記通常の動作命令と動作設定を使用して前記患者に治療を提供するように構成され、
前記リピータは、前記第２のデジタル保管領域内での保管のために前記医療機器へ一時的な動作命令と動作設定を送信するように構成され、
前記リピータは、前記患者を治療するため、前記一時的な動作命令と動作設定を使用するように前記医療機器に命令するように構成され、
前記患者を治療するための前記一時的な動作命令と動作設定を使用するための命令を前記リピータから受信すると、前記医療機器は、前記一時的な動作命令と動作設定を使用して治療を開始する第１所定期間が始まり、前記第１所定期間中の第１番目の時間の間隔に前記リピータから連続信号を受信することに失敗した場合、前記医療機器は前記通常の動作命令と動作設定に戻ることを特徴とするシステム。
【請求項２】
通常動作に戻ることなく前記第１所定期間が終了した後、前記システムは前記医療機器が第２所定期間を開始するように構成されており、前記医療機器がこの第２所定期間の第２番目の時間の間隔内に前記リピータから連続信号を受信することに失敗した場合、前記医療機器は前記第２所定期間中に通常の動作命令と動作設定に戻るように構成されている

ことを特徴とする請求項１記載のシステム。
【請求項３】
前記第２番目の時間の間隔は前記第１番目の時間の間隔よりも長くなるように構成されていることを特徴とする請求項２記載のシステム。
【請求項４】
前記システムは、前記第２所定期間内に前記リピータから受信される連続信号が、前記医療機器からの装置機能情報の転送要求を含むように構成されていることを特徴とする請求項２記載のシステム。
【請求項５】
前記システムは、前記患者が前記第２所定期間中に歩行できるように構成されていることを特徴とする請求項２記載のシステム。
【請求項６】
前記機器は、前記第２所定時間後、前記通常の動作命令を前記一時的な動作命令と交換し、かつ前記前の一時的な動作命令に基づいて前記患者に治療を通常通りに行うように構成されていることを特徴とする請求項１記載のシステム。
【請求項７】
前記機器または前記リピータは、前記一時的な動作命令に基づいた前記治療に対する患者応答を感知するように構成されており、前記機器が前記一時的な動作命令に基づいた前記治療に対する不利な応答を感知した場合は、前記通常の動作命令に基づいた治療に戻るように構成されていることを特徴とする請求項１記載のシステム。
【請求項８】
前記機器または前記リピータは、前記一時的な動作命令に基づいた前記治療に対する患者応答を感知するように構成され、前記応答が受入可能なものである場合は、前記通常の動作命令を前記一時的な動作命令と交換し、かつ前記前の一時的な動作命令に基づいて前記患者に治療を通常通りに行うように構成されていることを特徴とする請求項１記載のシステム。